

スロヴァキア・ フィルハーモニー管弦楽団

[チェロ] 宮田 大

弦の国スロヴァキアの名門楽団と
若手チェリスト宮田大の共演

Program

スメタナ:

連作交響詩『わが祖国』より

「モルダウ」

ドヴォルザーク:

チェロ協奏曲

ロ短調 op.104

ドヴォルザーク:

交響曲 第9番 ホ短調

「新世界より」 op.95

[指揮] レオシュ・スワロフスキー

2015年 **7/11** (土) 2:00pm ザ・シンフォニーホール

[A] 12,000円 [B] 10,000円 [C] 8,000円 [D] 6,000円 (全席指定・消費税込) 主催/朝日放送

1/25 (日)
発売

ご予約

■ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 [10:00~18:00]
(火曜定休)

■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:250-361]

■ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:57853]

■CNプレイガイド 0570-08-9990

■アスク プレイガイド 06-6222-1145

■e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ(webで予約・購入)

ABCぴあ 検索

携帯サイトは
こちら▶▶▶



<http://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入ができる!
クレジット決済も可能!! メルマガで優先予約をご案内!!
1度登録すると次回予約が簡単!!

お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション(朝日放送内) **06-6453-6000**
[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<http://asahi.co.jp/symphony/>

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

弦の国スロヴァキアの名門楽団と若手チェリスト宮田大の共演

スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団

1949年、チェコスロヴァキア(当時)の東部スロヴァキア地方の首都ブラティスラヴァで創立された、スロヴァキア最初の国立オーケストラ。1980年の初来日以来、卓越したアンサンブルと力強い演奏、そして民族的色彩感で高い評価を得ています。それを率いるのが、ブラハ国立歌劇場の芸術監督など重要なポストを歴任する、現代チェコを代表する指揮者レオシュ・スワロフスキー。

この弦の国の名門オーケストラが、今注目の若手実力派チェリスト・宮田大とドヴォルザークの名曲「チェロ協奏曲」で魅惑の共演をし、同じく交響曲第9番「新世界より」などを披露します。スラブの魂が奏でる、極上の響きにどうぞご期待ください。

【指揮】レオシュ・スワロフスキー

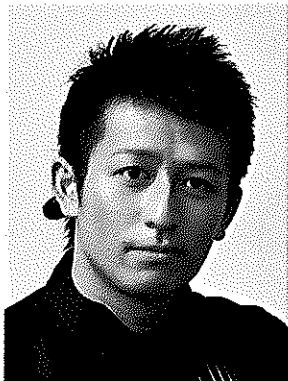
Leoš Svárovský, Conductor



チェコ生まれ。ブラハ芸術アカデミーでノイマンに学び、ブラハ国民歌劇場においてはコシュラーの下で副指揮者を務めた。その後、ブラハ室内歌劇場、ヤナー・チェク・フィル、ブルノ・フィル、ブラハ国民劇場バレエ管などの首席指揮者を歴任。また、2003～05年にはブラハ国立歌劇場芸術監督及び首席指揮者を務めた。これまでにシュターツカペレ・ドレスデン、ザルツブルク・モーツァルテウム管、リンツ・ブルックナー管、モスクワ放送チャイコフスキー響などに客演している。チェコ・フィルには定期的に客演している。また、スーク、オイストラフ、リッチャレツリ、パターら名演奏家との共演を重ねている。ブラハの春、ブラハの秋、パイロイトなど著名音楽祭への参加も多い。現在スロヴァキア・フィル常任客演指揮者、ブルノ・フィルハーモニー協会名誉会員、ブラハ芸術アカデミー准教授を務めている。スロヴァキア・フィル、ブルノ・フィル、ブラハ国立歌劇場、ザルツブルク・モーツァルテウム管などの日本公演をいずれも成功に導く一方、国内オーケストラの客演の機会も多く、日本での評価を着実に高めている。中でも2010年7月の都響創立45周年記念特別公演「売られた花嫁」はサントリーホールを大喝采の渦に巻き込んだ。2014年4月、セントラル愛知響音楽監督に就任。

【チェロ】宮田大(みやた だい)

Dai Miyata, Cello



栃木県宇都宮市出身。3歳よりチェロを始める。幼少よりその才能は注目を集め、9歳より、第74回日本音楽コンクールを含め出場するコンクールのすべてで第1位入賞を果たす。'09年、第9回ロストロポフ・ヴィチ国際チェロコンクールで日本人として初優勝。桐朋学園音楽部門特待生、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。'10年に第20回出光音楽賞、'12年にホテルオークラ音楽賞を受賞。'09年にジュネーヴ音楽院卒業、'13年6月にクロンベルク・アカデミー修了。ザールブリュッケン・カイザー・スラウテルン・ドイツ放送フィルハーモニー管、N響、など国内外のオーケストラ、ハレル、クレーメル、バシメット、ヴェンゲーロフ、また、日本を代表する多くの演奏家と共演し、国内外の音楽祭やソロ活動を活発に行っている。CDは「Dai First」「宮田大／チェロ會集」をリリースしている。'12年1月小澤征爾指揮・水戸室内管東京公演にソリストとして出演し、BS朝日にて2時間音楽ドキュメント、「小澤征爾さんと音楽で語った日～チェリスト・宮田大・25歳から」(芸術祭参加作品)が放送されるなどメディアへの露出も多く、現在最も注目を集めている若手チェリストである。2014年10月より上野製薬株式会社から貸与されている1698年製ストラディヴァリウス「Cholmondeley」を使用している。 オフィシャルサイト <http://daimiyata.com> <http://daimiyata.eu>

【管弦楽】スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団

Slovak Philharmonic Orchestra

1949年、チェコスロヴァキア(当時)の東部スロヴァキア地方の首都ブラティスラヴァに創立された、スロヴァキア最初の国立オーケストラ。初代首席指揮者は、チェコの伝説的な名指揮者ヴァーツラフ・ターリヒ。このオーケストラの設立に尽力し、短期間で第一級の水準に育成した。以後、「ブラハの春」音楽祭、「ブラハの秋」音楽祭(チェコ)、ヴラティスラヴァ音楽祭、ウィーン芸術週間、ウィーン・モデルン、リンツ・ブルックナー音楽祭、ベルリン音楽祭、フレンツェ五月祭といった著名国際的音楽祭への参加も多く、日本や全米、全欧への演奏旅行も頻繁に行っている。レコーディングも多く、スプリフォン(チェコ)、オーパス(スロヴァキア)、ナクソス(香港)といったレーベルから多数のディスクをリリースしている。1980年の初来日以来、卓越したアンサンブルと力強い演奏、民族的な色彩感で高い評価を得ており、日本でも多数のファンを獲得している。

